

復興ありがとうホストタウン連絡協議会 第1回総会
議事要旨

日 時：令和元年7月27日（土）13：00～13：30

場 所：ホテルサンルート釜石「鳳凰」

出席者：

東京オリンピック・パラリンピック担当国務大臣

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局企画・推進統括官

”

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局参事官

岩手県 知事

岩手県 文化スポーツ部長

宮古市 市長

大船渡市 市長

花巻市 市長

久慈市 市長

陸前高田市 副市長

釜石市 市長

二戸市 市長

雫石町 町長

大槌町 町長

山田町 町長

野田村 副村長

宮城県 オリンピック・パラリンピック大会推進局長

仙台市 副市長

気仙沼市 副市長

名取市 副市長

岩沼市 副市長

東松島市 副市長

加美町 町長

福島県 企画調整部文化スポーツ局局长

本宮市 市長

飯舘村 総務課長

鈴木 俊一(すずき しゅんいち)

河村 直樹(かわむら なおき)

勝野 美江(かつの みえ)

荒井 陽一(あらい よういち)

達増 拓也(たっそ たくや)

菊池 哲(きくち あきら)

山本 正徳(やまもと まさのり)

戸田 公明(とだ きみあき)

上田 東一(うえだ とういち)

遠藤 譲一(えんどう じょうじ)

岡本 雅之(おかもと まさゆき)

野田 武則(のだ たけのり)

藤原 淳(ふじわら じゅん)

猿子 恵久(さるこ しげひさ)

平野 公三(ひらの こうぞう)

佐藤 信逸(さとう しんいつ)

米澤 功一(よねざわ こういち)

大山 明美(おおやま あけみ)

藤本 章(すじもと あきら)

赤川 郁夫(あかがわ いくお)

我妻 諭(わがつま さとし)

鈴木 隆夫(すずき たかお)

小山 修(おやま しゅう)

猪股 洋文(いのまた ひろふみ)

野地 誠(のじ まこと)

高松 義行(たかまつ ぎぎょう)

高橋 正文(たかはし まさふみ)

1. 挨拶

○鈴木 東京オリンピック・パラリンピック担当国務大臣

- ・「復興ありがとうホストタウン連絡協議会第1回総会」を開催することができ、ご出席の皆様にご挨拶申し上げます。
- ・本日は、釜石市でラグビーの「パシフィックネーションズカップ」が開催される。まさに復興の象徴であり、感慨深い。多忙の中、本総会の開催にご尽力いただいた皆様にご挨拶申し上げます。
- ・東京大会の開催が決定した際、資材や人が東京に集中してしまうのではないかと、国民の関心も東京に移ってしまうのではないかと、オリンピック・パラリンピックが復興の足かせになっては困る、という声があった。所詮オリンピック・パラリンピックは東京の祭りであり、我々被災地には関係ないという空気もあった。
- ・一昨年の8月に大臣に就任して以降、被災地出身の者として、「復興オリンピック・パラリンピック」を名実伴ったものにすべく、そして、被災地の我々も深く関わりを持った大会にすべく、被災地と東京大会の距離を縮める取組を進めてきた。その取組の一つが復興ありがとうホストタウンの創設である。
- ・お陰様で、復興ありがとうホストタウンは今日までに24件が登録され、各地で住民の皆様が主役となって、交流活動を活発に実施していただいている。
- ・大会1年前の様々な報道の中には、「ホストタウン活動が、復興への希望の光となっている」という記事もあった。この仕組みを始めて本当に良かったと思っている。
- ・この素晴らしい仕組みを世界の皆さんに知っていただけるように、本連絡協議会では様々な連携活動を実施していきたい。また、関係省庁の協力を得ながら、更なる「復興オリンピック・パラリンピック」の具現化を図っていくことも重要と考えている。一層のご協力をお願いしたい。
- ・今日が連絡協議会のキックオフ。皆さんとスクラムをしっかりと組んで、復興オリンピック・パラリンピックに向けて実のある活動を行っていきたくと考えているので、よろしくをお願いしたい。

○達増 岩手県知事

- ・岩手県釜石市での第1回総会の開催を歓迎するとともに、お祝い申し上げます。
- ・いま、東京大会に向け、1年前イベントなど、気運醸成に向けた取組が各地で行われている。関係各位の努力に敬意を表する。
- ・「復興五輪」を理念に掲げる東京大会は、これまでに世界から被災地へいただいた復興支援に対して感謝を伝え、復興の今を世界中に発信する絶好の機会である。そして、復興ありがとうホストタウンは、その理念を実現する大きな手段である。
- ・岩手県内では、33市町村のうち15市町村が、ホストタウンや復興ありがとうホストタウンに登録され、既に様々な取組が進められている。今後更に活発な活動が行われると期待しており、県としても、様々な形で支援していく。
- ・3年前の「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」のレガシーとして、「スポーツの力が、復興の力になる」ということを、岩手県民は実感しているので、張り切ってやっていきたい。
- ・本日は、ラグビーワールドカップのテストマッチである「パシフィックネーションズカップ」が釜石鶴住居復興スタジアムで開催される。ラグビーワールドカップ釜石開催を成功させ、来年度のオリンピック・パラリンピックへつなげていきたい。
- ・本日の総会が、今後の復興ありがとうホストタウンの取組の更なる充実に向けた契機になることを祈念する。

○野田 釜石市長

- ・釜石市での第1回総会の開催を歓迎する。
- ・本日、「パシフィックネーションズカップ」が釜石鶴住居復興スタジアムで開催される。日本代表がこの会場で試合を行うのは初めてで、チケットは完売。朝から街全体が賑わっており嬉しく思う。
- ・「復興は10年」と言われており、来年が完成の年となる。だいぶ進んできてはいるが、釜石にはまだ仮設にお住まいの方もいる。来年までには復興が完了するように全力を尽くしていきたい。
- ・一方で、復興が終わった後の新しいまちづくりや、地域の振興策は、大きな課題である。復興ありがとうホストタウンを、次の展開を考えるチャンスととらえ、最大限活用しながら地域の振興策を考えていきたい。世界と手をつなぎながら、被災地の新しい希望を作り上げていきたい。
- ・皆さんの取組を参考にさせていただきながら、お互いに切磋琢磨してよりよいホストタウンのあり方を考えていきたい。

2. 議事

(1) 会長及び副会長の選任について

(司会)

- ・参考の「復興ありがとうホストタウン連絡協議会規約」をご覧ください。
- ・規約第2条2より、協議会に会長及び副会長を置くこととされている。会長を鈴木大臣とすることを事務局から提案する。(拍手) 出席者の承認をいただいたので、会長にご就任いただく。

(鈴木会長より副会長の選任)

- ・副会長を、岩手県山田町長、宮城県加美町長、福島県南相馬市長にお願いする。(拍手)

(司会)

- ・皆さんから賛同をいただいたので、山田町長から挨拶いただきたい。

(岩手県山田町長より副会長就任の挨拶)

- ・復興五輪まで1年を切ったところ。ラストスパートに向け、被災地の町長として努力してまいりたい。

(司会)

- ・次に加美町長から挨拶いただきたい。

(宮城県加美町長より副会長就任の挨拶)

- ・復興ありがとうホストタウンを地域活性化のきっかけにしたい。
- ・当町のホストタウンであるチリのパラリンピックチーム受入れに、トヨタグループより協力の申し出をいただき、7月31日(水)に調印することとなった。その延長で、当町が抱えている高齢者の輸送の確保の課題に対しても、トヨタグループとともに新たな仕組みを構築していきたいと考えている。
- ・この復興ありがとうホストタウンの活動が当町の課題解決につながっていることを実感している。

(福島県南相馬市長は、相馬野馬追開催のため欠席)

(2) 復興ありがとうホストタウンイベントおよび連携した情報発信について

(内閣官房より説明)

- ・資料1をご覧いただきたい。
- ・昨年公表した「復興オリンピック・パラリンピックに係る政府の取組」について、本年も各省庁からヒアリングを実施し、更新した。令和元年版として本日公表させていただく。

- ・資料2をご覧いただきたい。
- ・本連絡協議会の強みは、連携して、国内外に情報を発信していけることであるとする。
- ・本総会を開催するにあたり、「情報発信に関するアンケート」により現状を整理した。
- ・各自治体においてホームページ等を活用し、工夫して情報発信していただいている一方、ホストタウン相手国・地域の言語での発信や、SNSの閲覧数の少なさ等が課題のようである。
- ・本連絡協議会で共通して発信できるツール等への要望もいただいた。

- ・資料3～6をご覧いただきたい。
- ・先述のアンケート結果も踏まえ、今後の取組について事務局から提案させていただく。
- ・「2020 ホストタウン・ハウス ショールーム」が8月27日(火)に八芳園(東京)で開催される。本連絡協議会の枠組みを用い、皆さんの取組をしっかりと発信できる「復興ありがとうホストタウン特設コーナー」を設けていただく予定。
- ・9月下旬に、外務省が設置しているロサンゼルス「ジャパン・ハウス」を活用し、アメリカをホストタウンとしている自治体を中心に「復興ありがとうホストタウン」をPRするためにシンポジウムを開催予定。
- ・オリパラ等経済界協議会の協力のもと、復興ありがとうホストタウンと、被災3県共生社会ホストタウン自治体の小学生を対象にした動画コンテストを実施する。優秀作品を制作した100名程度を「東京モーターショー(10月24日～11月4日開催予定)」内のカウントダウンショーケースに招待し、表彰式を実施予定。
- ・11月4日(月・祝)に「復興ありがとうホストタウン連絡協議会第2回総会」をJヴィレッジ(福島県)にて開催し、併せて、復興ありがとうホストタウンイベントを開催したい。イベント内容は、各自治体から企画を募集させていただきたい。
- ・株式会社ポケモンより、世界中に多くのファンがいる「ポケモン」と一緒に復興ありがとうホストタウンを盛り上げたいと申し出。どういったポケモンが協力してくれるか、第2回総会にて公表予定。
- ・2020年2月下旬に「ホストタウンサミット2020」を開催予定。各復興ありがとうホストタウンの取組や、本連絡協議会の取組を報告していただく場としたい。
- ・大会期間中には、有明地区の武蔵野大学にて「2020 ホストタウン・ハウス」が設置される予定。復興ありがとうホストタウン特設コーナーも設けられる予定なので、展示コンテンツ等をご検討いただきたい。

- ・資料7をご覧いただきたい。
- ・日本郵便株式会社の取組を再掲としてご紹介する(6月11日開催の第3回ホストタウン首長会議で説明済)。ホストタウンのそれぞれの取組をオリジナル切手にすること等が記載されているので、ぜひご検討いただきたい。

(3) 質疑応答

- ・特になし
- ・今後の復興ありがとうホストタウン連絡協議会の情報発信等について了承いただいたものとして、今後、具体的な活動を実施することとなった。

以上